

学校名 寄居町立城南中学校
所在地 大里郡寄居町鉢形2222
電話 048-581-0127

1 本校の概要

本校は今年度開校50周年を迎えた。記念式典では多くの地域住民の方に参加をいただくなど、日頃から地域に支えられ期待をされている学校である。学校教育目標として、「大志を胸に心豊かにたくましく」を掲げ、「日本一の学校」を目指している。

2 本校の実践の概要

寄居町では町立図書館と町内の小中学校が定期的に会議を開くなどして常に連携を保ち、学校図書館教育の充実に努めている。また、購入した図書には、専用バーコードを付け、町全体で図書の情報を共有できるシステムの整備に努めている。

(1) 朝読書の実践

本校の一日は朝読書の時間から始まる。全校生徒309名（1年生96名、2年生104名、3年生109名）、教職員28名が毎日10分間（8:25～8:35）それぞれ思い思いの本を静かに読んでいる。職員間では以下の3項目について共通理解を図っている。

- ① 本を読むだけの時間にする。
- ② 教師もいっしょに読む。
- ③ 他の時間に振替をしない。

本年度から図書室の本を各学級に20冊ずつ学級文庫として貸し出し、月に1回の割合で入れ替えを行っている。これは、本を忘れたり、用意できなかつたりする生徒への対応で活用することが主ではなく、本を身近に感じることができる環境作りを目的に実施している。図書委員会や各学級の学習係と連携しながら貸し出しを行っている。

(2) 掲示物の工夫

図書委員会が毎月作成する「図書だより」には、お薦め本の紹介、図書室内の特設コーナー

の紹介などを掲載し、各学級、職員室前の掲示コーナーに掲示している。

(3) 季節や行事に合わせた特設コーナーの設置

季節感のある掲示物等を用意し、明るい図書室づくりを行っている。また学校行事に合わせ、関係する本を陳列し、それぞれの本にコメントカードを添え、興味をもつことができるような工夫をしている。

(4) 校内読書週間での読み聞かせや朗読劇

全国読書週間に合わせ、毎年校内読書週間を設定し、全職員のお薦め本を紅葉の葉のカードに理由とともに書いてもらい、「読書の木」と称して職員室前の廊下に掲示している。

また、図書委員を中心に読み聞かせや古典の朗読、朗読劇を行い、来室した生徒へ図書委員会手作りのしおりを渡し、読書や図書室への興味・関心を高める工夫をしている。

3 成果と今後の課題

(1) 学校図書館図書標準冊数の確保

蔵書の確保を計画的に推進し、生徒の読書意欲の向上につなげていきたい。来年度には書架も追加される予定である。

(2) 一冊の本を手にとらせるための工夫

本校の生徒の興味・関心を引くような図書を選定するために、生徒が本の選定をできるようにしたい。また、「城南中学校生必読書〇〇冊」等を作成することで生徒同士で一つの書物に関して会話ができるような環境を作ることも実現させていきたい。

